

一日の使い方

令和二年十二月十七日（木）

行持：行は修行で、修行者としてなすべきこと。持は護持、持続、たもつ、の意。修行を常にやめないこと。修行生活。修行による仏道の護持。仏道修行者の正しい生活姿勢の努力。（仏教語大辞典）

「いたずらに百歳いけらんは、恨むべき日月なり、かなしむべき形骸なり。たとひ百歳の日月は声色の奴婢と馳走すとも、そのなか一日の行持を行取せば、一生の百歳を行取するのみにあらず、百歳の他生をも度取すべきなり。この一日の身命は、たふとぶべき身命なり、たふとぶべき形骸なり。」

『正法眼蔵 行持（上）』

『修証義 第五章 行持報恩』

一日の貴重さ。

一日行持を行うことが何よりも素晴らしくい得難いこと。日々、無駄に時間を過ごすことなく、一日一日を大切に生きる。

安龍寺 齋藤隆光